

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E142N016		コミュニケーション英語 (English Communication)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	3	教育学部			氏名 麻生 雄治 E-mail 内線										
授業の概要	英語を通じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、実際の社会生活において活用できるようになることをめざす。具体的には、与えられた話題について、即興で話す、聞き手や目的に応じて簡潔に話す、読み手や目的に応じて、簡潔に書く、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する、ことができるようになることを目標とする。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	幅広い話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。															
目標2	幅広い話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。															
目標3	幅広い話題について、目的や場面、状況に応じて、説明や描写の表現を工夫しながら英語で話すことができる。															
目標4	幅広い話題について、目的や場面、状況に応じて、説明や描写の表現を工夫しながら英語で書くことができる。															
目標5	複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。															
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	ガイダンス、Unit 1. Internet Safety or Freedom of Expression?															
2	Unit 2. Honor or Burden?															
3	Unit 3. Clean Energy or Potential Threat?															
4	Unit 4. Real Risk or Great Technology?															
5	Unit 5. Legalization or Outlawing of Gay Marriage?															
6	Unit 6. Separate Smoking Area or Total Ban?															
7	Unit 7. Right to Die or Responsibility to Live?															
8	前半のまとめ、中間試験。															
9	Unit 8. Punishment or Discipline?															
10	Unit 9. To Skip or Not to Skip?															
11	Unit 10. Performance or Seniority?															
12	Unit 11. Free Trade or Protection?															
13	Unit 12. Animal Rights or Human Profits?															
14	Unit 13. Peace Constitution or Revision?															
15	Unit 14. Death Penalty or Human Rights? 全体のまとめ。															
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	小テスト、中間試験、ペア・グループによる協同学習、LTD、ミニディベート、ピアレスポンス				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	予習：練習問題を解きながら、学習内容の概要を(できる範囲で)理解する(1h)。														
	事後学修	復習：学習内容を整理し、与えられたトピックに関する英作文(パラグラフ・ライティング)を書く(1h)。														
教科書	Ueda, I., Ueda, T., Taoka, C., & Yoneoka, E. 『Pros and Cons: Discussing Today's Controversial Issues』(センゲージラーニング, 2014) ISBN9784863122529															
参考書	授業内で適宜紹介する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	毎回の課題、小テスト	30%														
	発表・プレゼンテーション	10%														
	中間試験	30%														
	期末試験	30%														
注意事項	英和辞典を使用する(電子辞書:可)。															
備考																
リンク	なし。															
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	公立高等学校教員として、授業内外で英語の指導を行った。
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし
実務経験を いかした教 育内容	学習者の理解度に応じた適切な教材、方法、評価を取り入れた授業を展開する。